

樹木選定作業中の右手指切創事故

事業所

1. 発生日時 令和2年7月10日(金) 10:15頃
2. 発生場所 伊勢湾岸自動車道 湾岸長島IC Dランプ 出口料金所ブース手前
3. 概要 伊勢湾岸自動車道 湾岸長島IC出口料金所ブース手前の樹木選定作業中の事故。
ハンドトリマーで標識手前の樹木を剪定中に右手中指の第一間接付近を切創して
しまったもの。(原因不明)
4. 被災状況 右手中指 第一関節付近切創 (診察終了)
〈診断結果〉 被災者は、救急車で救急病院へ搬送後、処置室で診察。右手中指を8針縫合。
腱や神経は切断していなかった。(診療情報:右第3指末節部挫創)
「救急病院のため診断書がだせない」 明日自宅近くの病院で診察を受け診断書発行予定

5. 位置図



7. 状況写真

被災箇所 全景



使用機械:ハンドトリマー



被災状況



右第3指末節部挫創
(8針縫合)

7. 状況写真

作業状況(再現)



○付近で切創(本人談)



【事故時の状況】

- ①被災者は、耐切創用手袋・保護眼鏡は着用していた。
- ②現場は、小雨が降っていたが手元が濡れるほどではなく、足場も良好であった。
- ③被災者は、親指ぐらいの太さの枝を剪定するため、トリマーで上から押え付けて切ろうと力を入れていたが、その時、右手が離れた可能性がある。被災者は、事故時、気が動転して、被災したときの詳細な記憶がない。
- ④周囲の作業員で被災状況を見ているものはいなかった。

【原因】

- ①被災者は、剪定中に親指ぐらいの太さの枝を、トリマーで上から押え付けて切ろうと力を入れていた。力を入れていた右手が持ち手から離れてしまいトリマーの刃で右手中指を負傷した。

【緊急安全大会での意見】

- ①親指程度の枝だと力が要るので、無理はせずに一度トリマーを停止して剪定ハサミか鋸で切った方がよい。
- ②事故時のトリマーは、重量が約5kgと重いので、連続作業は止めて、こまめに休憩を取ったほうが良い。
- ③耐切創用手袋は、集草作業でレーキの柄を持った手が滑りやすくなる。手の平に汗をかくと更に滑りやすい。

【対策】

- ①親指程度の太さの枝を切る場合は無理せずに一度トリマーを停止して剪定ハサミか鋸で切る。
- ②トリマー本体の重量が重いため、連続作業は止めて、こまめに休憩を取る。
- ③耐切創用手袋が滑りやすいという意見があったため、7月13日(月)午前中に■■■■にて 実験・検証を行う。